

昨年（2016年）に発行しました中京大学体育研究所紀要第30号の74ページに誤りがありました。以下の内容に差し替えてください。

2015年度アスリート支援（メンタルマネジメント）の活動報告

スポーツ科学委員の心理プロジェクトを参考に競技意欲を高めるトレーニングを行った。その結果、選手本人から改善の内省報告を得られ、「心理的競技能力診断検査」における自己実現意欲と勝利意欲の向上がみられた。

- (3) 木曜日スーパーバイズについて。陸上部に対する活動内容を山田憲政教授に報告し、その内容についての指導を受けた。また、陸上競技部以外の団体のサポートをしている他種目のコーチらと情報交換、勉強会を行った。

- 7 所見：今年度から新たに始めた内容として、「試合前の心理状態診断検査」と合宿中の「POMS」実施が挙げられる。「試合前の心理状態診断検査」についてはベストパフォーマンスを発揮したときの心理状態を把握することにつながり大変好評であった。しかし合宿中の「POMS」については、疲労困憊状態での質問紙記入が不評であった。したがって、合宿中においては質問紙ではなく、別のアプローチが必要である。

以上

